



自分ゴトから地域ゴトへ 認知症に備える 「あやめカフェ」



「あやめカフェ」は昨年11月と今年2月に続いて、今回で3回目。講師の方のお話を聞く勉強会と、手を動かしながらのおしゃべりの会を交互に企画しています。次回は7月14日（木）に開催します。



多賀城市西部地域包括支援センターの職員の方の指導を受け、健康体操に取り組み参加者のみなさん。今回は39名の方が参加しました。



「講座で話した自分の思いに共感・協力してくれた人がいて、カフェの開催につながりました」と石塚さん。

5月14日（土）、多賀城市浮島地区で認知症に関する学びと地域住民のつながりづくりをめざして開催された「あやめカフェ」。家族が認知症になった時に、知識があまりなかったためにうまく対応できなかった経験を持つ石塚亜紀さんが企画しました。「普段から認知症について話す場があれば、自分と同じ立場になった人のためになるのではないかな？」という想いを持ち、認知症カフェの開催を考えようになりました。

想いがカタチになったきっかけは、2015年度のがさぽ講座「TAGAJO Future Labo」に参加し、知り合った人たちと「パープル・アイリス」を結成したこと。町内会のみなさんや専門職の方々の協力も得ながら地域に根差して活動しています。

☕ 認知症カフェとは？

認知症の人やその家族、地域の人、医療やケアの専門職が集まり、交流を楽しみながら認知症への理解を深める場で、全国で行われています。

☕ 「あやめカフェ」を詳しく！

f パープル・アイリス
<https://www.facebook.com/purpleiris2015/>

✎ たがさぽPressでもご紹介！

● 「浮島地区での『健康講話』・『あやめカフェ』に行ってきました！」
2015年11月22日（日）掲載

✎ ヒント from “たがさぽPress” たがさぽのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ <http://blog.canpan.info/tagasapo/>

● テックスoup
「Techsoup JAPAN」のご紹介 2016年5月17日（火）掲載
社会問題の解決に向けて最大限の力を発揮してもらうために、民間非営利法人をITの面からサポートするソフトウェア寄贈プログラムをご紹介します。

● 安心して働ける社会をつくる 2016年5月19日（木）掲載
若い年代の早期退職者が多い状況を解消するための一手として、「NPO法人プラットフォームあおり」が取り組む「地域同期」とは？

● ノラ猫のいない街づくり 2016年5月26日（木）掲載
「NPO法人おおさかね倶楽部」では、ノラ猫のいない街をめざして、不妊手術や保護した猫の里親募集などの活動に取り組んでいます。

🚩 たがさぽからのお知らせ たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

NPOいちから 塾

私たちの身近な所でもさまざまな活動をしているNPO。この講座では、NPOの言葉の意味や成り立ち、しくみ、具体的な活動事例を分かりやすく解説します。NPOに興味があり学びたい、自分の暮らす地域のために何かしたい、そんな方におすすめの講座です。

日時	2016年7月15日（金）午後7時～午後9時
会場	多賀城市市民活動サポートセンター 301会議室
費用	無料
定員	10名（先着順／要事前申込）
申込	多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
問合せ	022-368-7745（多賀城市市民活動サポートセンター）

“たがさぽPress”とは？

たがさぽスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぽPressへ！ ＊ケータイ、スマホからご覧いただけます。





踏み出しませんか、地域活動の第一歩

多賀城で暮らしていて、「こうなったらもっと暮らしやすくなるのでは」
「地域の活動や行事に関わってみたい」と思ったことはありませんか。
「でもどうやって…?」という方に、事例をもとに地域活動への第一歩の踏み出し方を紹介します。

一歩を踏み出せない理由とは?

多賀城市「まちづくりアンケート」によると、地域での活動に「今後参加してみたい」と答えている人の割合は約4割を占めています。「これまで参加できなかった理由」を内閣府「国民生活選好度調査」の結果から推測すると「参加するきっかけがなかった」「団体や活動に関する情報がなかった」などが挙げられます。

「こんなことをしたい」という想いを言葉に!

たがさぼ主催の「TAGAJO Future Labo」は、「こんなことをしたい」「自分の経験や特技を地域で活かしたい」という想いを持つ方が対象の講座です。言葉に表して参加者同士で発表・共有することで想いを整理し、具体的なカタチにしていきます。一人では動き出しづらくとも、共感や励まし、協力してくれる仲間が得られることで、実際に行動に移した参加者も出てきました(表面の「あやめカフェ」もその一例)。実現したい何かがすでにある場合は、その想いを「これは!」という人に話してみましょう。想いが広がり、行動につながることも多いです。



想いをカタチにしたい方、たがさぼにご相談ください!

地域活動の情報を手に入れるには?

今年1月、高橋地区で開催された「昔遊びの会」では、普段は町内会活動にあまり関わっていない住民の方が多く協力しました。「『手伝いませんか?』と誘われた」「回覧板で知った」「区長のブログで見て、おもしろそうだった」などのさまざまなきっかけで、事前の打ち合わせや「昔遊びの会」を知ったとのことでした。
情報は案外身近にあり、アンテナを少し高くしておくことで普段何気なく見ている地区の掲示板などからも手に入れます。その中で、興味があったり自分にもできそうなものにまずは関わってみることで、次の行動へのきっかけになっていきます。



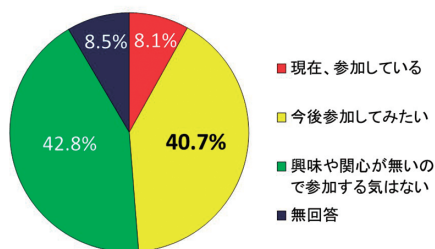
たがさぼでは、イベントチラシ・パンフレットなど地域活動の情報がたくさん得られます!



小さくても、まず一歩を。

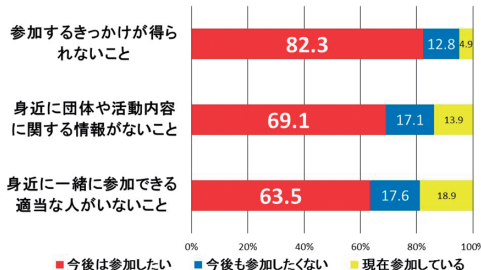
より暮らしやすい地域をつくるためには、住んでいる地域のよい点や改善すべき点を日々感じている人たちの力が必要です。また、活動に参加していくことで近所同士のつながりや、仕事以外でのネットワークが築けるきっかけにもなります。これから夏にかけて、町内会の夏まつりなどさまざまなイベントや活動が行われます。ただ参加するだけではなく、この機会に一歩踏み出し、関わってみませんか。

問24 あなたの市民活動、NPO活動、ボランティア活動などに関する状況についてお聞きします



多賀城市
「まちづくりアンケート」より
(2015年度実施 1513人が回答)

【参考】地域での活動に参加できない要因として選択した項目ごとの、今後考えている行動別の割合(抜粋)



内閣府「平成15年度国民生活選好度調査」より(2003年度実施、全国の3908人が回答)



これを読むと
昨年度の

“TAGAJO Future Labo”
での取り組みが
分かります!

くわしくは、
たがさぼPressで!
「何かをはじめたい」という貴方へ
「TAGAJO Future view」多賀城未来図
2016年4月12日(火)掲載



昨年度の「TAGAJO Future Labo」(1回目)の様子。それぞれの想いを発表し、感想や意見を交換しました。

「TAGAJO Future Labo」
開催のお知らせ
「何かをしたい!」「自分の特技を地域に活かしたい!」という方、ぜひご参加ください。7月8日(金)には、事前説明会も行います。
■日程: 7月(来月)1月にかけての5回連続講座
■場所とお問い合わせ: たがさぼ



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



「たがさぼ」ではツイッターもやっています。フォローをお願いします!
@tagasapo



「たがさぼ」ホームページはこちら
<http://www.tagasapo.org/>